

市民向けアンケートの 実施結果

内容：自治会についての意見（加入者及び非加入者）全7問

調査期間：令和8年8月10日（月）～8月31日（月）

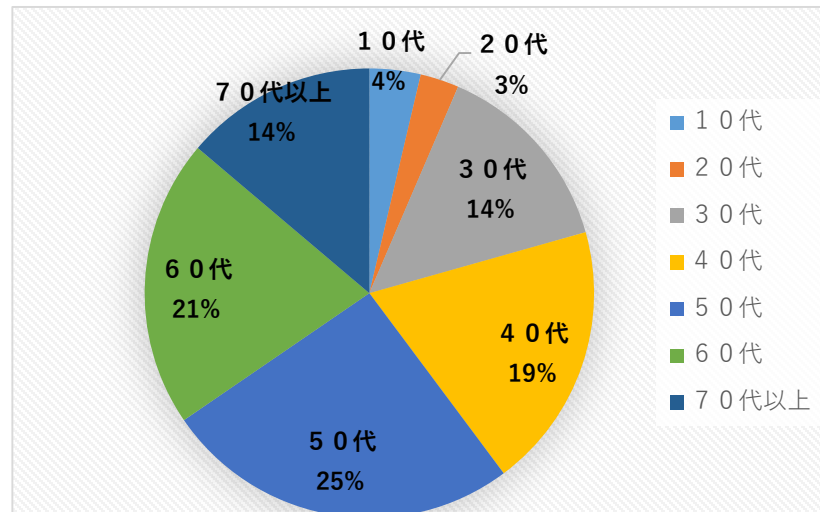
調査方法：姫路市公式LINEにて実施

質問内容（全7問）

- （1）あなたの年齢を教えてください。
- （2）あなたの居住形態を教えてください。
- （3）あなたの世帯は自治会に加入していますか。
 - （4－A）「加入している」を選んだ場合：
自治会がもっとこうなれば良いということはありませんか。
 - （4－B）「加入していない」を選んだ場合：
自治会に加入していない理由を選んでください。
- （5）あなたは近隣の方とどの程度付き合いがありますか。
- （6）地域社会で暮らすにあたって不安に思っていることはありますか。
- （7）（6）の設問項目に記載したような不安を減らす取り組みを行っている自治会は今後も必要だと思いますか。

(1) あなたの年齢を教えてください。

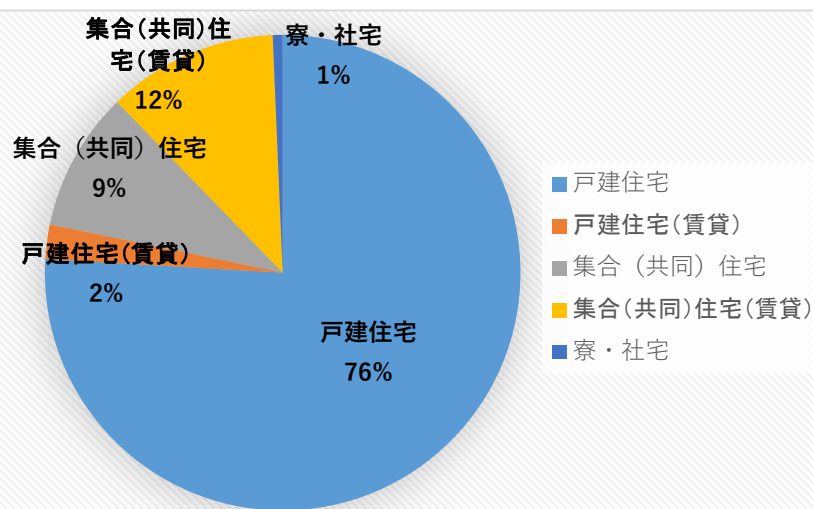
	回答数	(割合)
10代	33	3.7%
20代	25	2.8%
30代	127	14.2%
40代	172	19.2%
50代	230	25.6%
60代	186	20.7%
70代以上	124	13.8%
総計	897	100.0%



- 10代から70代以上まで、幅広い年代の方にご回答いただいています。

(2) あなたの居住形態を教えてください。

	回答数	(割合)
戸建住宅	681	75.9%
戸建住宅 (賃貸)	21	2.3%
集合 (共同) 住宅	85	9.5%
集合 (共同) 住宅 (賃貸)	104	11.6%
寮・社宅	6	0.7%
総計	897	100.0%



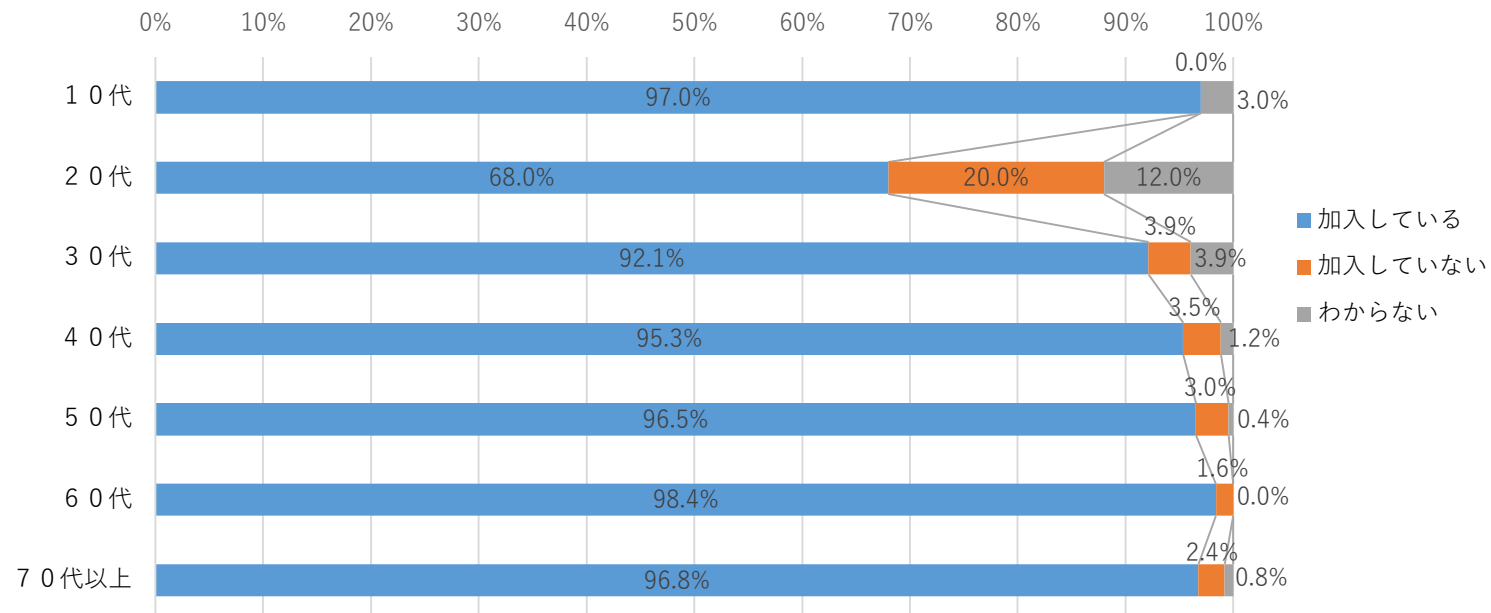
- 回答者の居住形態は戸建住宅が約4分の3を占めますが、集合住宅の方からも200人程度からご回答いただいています。

(3) あなたの世帯は自治会に加入していますか。(世代別集計)

	加入している		加入していない		わからない		全体の 回答数	全体の 割合
	回答数	(割合)	回答数	(割合)	回答数	(割合)		
10代	32	97.0%		0.0%	1	3.0%	33	100.0%
20代	17	68.0%	5	20.0%	3	12.0%	25	100.0%
30代	117	92.1%	5	3.9%	5	3.9%	127	100.0%
40代	164	95.3%	6	3.5%	2	1.2%	172	100.0%
50代	222	96.5%	7	3.0%	1	0.4%	230	100.0%
60代	183	98.4%	3	1.6%		0.0%	186	100.0%
70代以上	120	96.8%	3	2.4%	1	0.8%	124	100.0%
総計	855	95.3%	29	3.2%	13	1.4%	897	100.0%

(アンケート回答者では)

- 20代のみ加入率が極端に低く、68.0%となっている。
- 20代は加入しているか分からない人も12.0%いる。
- 20代以外の加入率は9割を超えている。

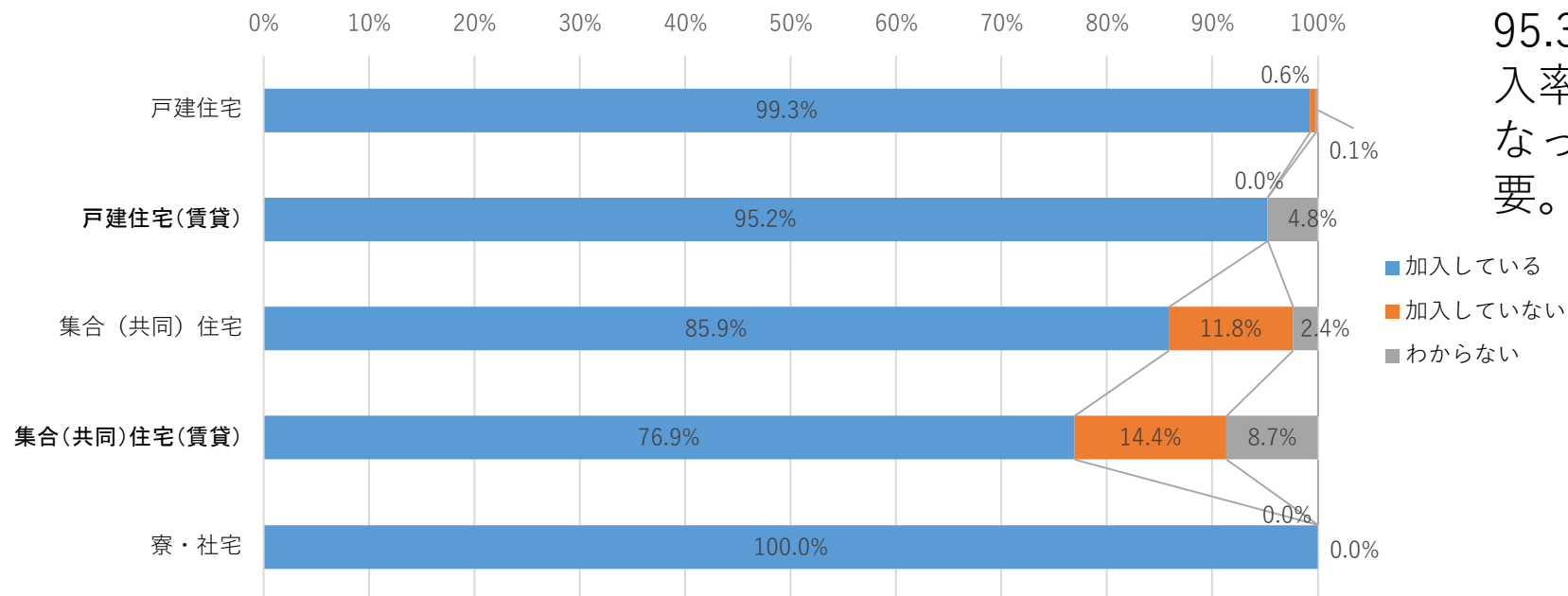


（３）あなたの世帯は自治会に加入していますか。（居住形態別集計）

	加入している		加入していない		わからない		全体の 回答数	全体の 割合
	回答数	（割合）	回答数	（割合）	回答数	（割合）		
戸建住宅	676	99.3%	4	0.6%	1	0.1%	681	100.0%
戸建住宅（賃貸）	20	95.2%	0	0.0%	1	4.8%	21	100.0%
集合（共同）住宅	73	85.9%	10	11.8%	2	2.4%	85	100.0%
集合（共同）住宅（賃貸）	80	76.9%	15	14.4%	9	8.7%	104	100.0%
寮・社宅	6	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	100.0%
総計	855	95.3%	29	3.2%	13	1.4%	897	100.0%

（アンケート回答者では）

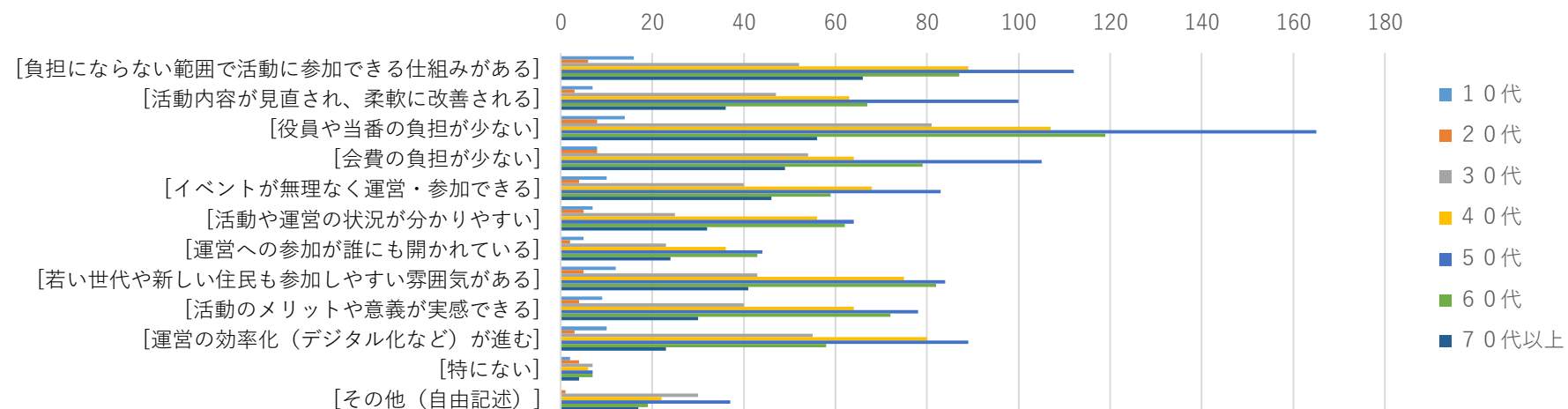
- 集合（共同）住宅の加入率は戸建て住宅の加入率よりも低い傾向となっている。
- 特に、集合（共同）住宅（賃貸）は加入率が低く、76.9%となっている。
- 回答者全体の加入率は95.3%と、姫路市全体の加入率（88.1%）よりも高くなっている点には注意が必要。



（４－Ａ）（３）で「加入している」を選んだ場合：
自治会がもっとこうなれば良いということはありませんか。（複数回答可）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
[負担にならない範囲で活動に参加できる仕組みがある]	16	6	52	89	112	87	66	428
[活動内容が見直され、柔軟に改善される]	7	3	47	63	100	67	36	323
[役員や当番の負担が少ない]	14	8	81	107	165	119	56	550
[会費の負担が少ない]	8	8	54	64	105	79	49	367
[イベントが無理なく運営・参加できる]	10	4	40	68	83	59	46	310
[活動や運営の状況が分かりやすい]	7	5	25	56	64	62	32	251
[運営への参加が誰にも開かれている]	5	2	23	36	44	43	24	177
[若い世代や新しい住民も参加しやすい雰囲気がある]	12	5	43	75	84	82	41	342
[活動のメリットや意義が実感できる]	9	4	40	64	78	72	30	297
[運営の効率化（デジタル化など）が進む]	10	3	55	80	89	58	23	318
[特にない]	2	4	7	6	7	7	4	37
[その他（自由記述）]		1	30	22	37	19	17	126

※各年代の上位
3項目の背景色
を黄色にしてい
ます。



- どの年代でも、「役員や当番の負担が少ない」ことが望まれている。
- 「負担にならない範囲で活動に参加できる仕組みがある」「会費の負担が少ない」ことも多くの世代で望まれている。

**（４－Ａ）（３）で「加入している」を選んだ場合：
自治会がもっとこうなれば良いということはありませんか。【その他、自由記述】**

（主な回答の要約です）

- ・ 共働き、子育て、介護、病気、シフト勤務などにより、従来型の役員・当番制度が生活実態に合わなくなっている。
- ・ 役員の長期化、くじ引きによる役員決定、特定の人への負担集中があるなど、役員選出や負担に不満がある。
- ・ 会費や入会金が高い、地域差が大きい、使途が不透明。
- ・ 高額な自治会費・入会費を支払っている割にはメリットが少ない。
- ・ 神社や祭りのための費用、飲食費、寄付金などを自治会費から支出することに疑問を感じる。
- ・ 会計、役員選出、活動内容、意思決定の過程が不透明。説明を求めても答えてくれない。
- ・ 高齢者や従来からの住民を中心とした閉鎖的な運営が見られる。
- ・ 回覧板、広報配布、会費徴収、総会、情報発信のデジタル化を進めてほしい。
- ・ 高齢者やデジタル機器を使えない人への配慮と、導入費用の支援も必要。
- ・ 若い世代や新住民が参加しにくい雰囲気、旧来の慣習、女性に偏った役割分担を変える必要がある。
- ・ 新住民や集合住宅の住民を、会費を負担するだけの存在にしない工夫が必要。
- ・ ごみ、道路、公園、溝、草刈りなどを自治会に過度に依存せず、行政や外部事業者が担うべき。
- ・ 自治会には、地域住民が必要を感じる活動に重点化してほしい。

※自治会への不満や問題点について数多く意見が寄せられた一方で、自治会の日々の活動（清掃、地域交流等）に感謝する声や、必要性を述べている回答もありました。

（４－Ａ）（３）で「加入している」を選んだ場合：
自治会がもっとこうなれば良いということはありませんか。【その他、自由記述】

20代、30代の意見

(1)活動内容・参加負担の見直し

- ・ 古い仕組みやルールは時代に合っていないように感じる。
- ・ 共働き家庭のため、役員や当番などは費用を払えば委託できる（免除される）仕組みがあればありがたい。
- ・ 参加していない人のタダ乗りは不公平と感じる。負担金を求める仕組みがあってもいいのでは。

(2)デジタル化・開かれた運営

- ・ 回覧板はLINE等を活用し、いつでもみれるようにしてほしい。
- ・ 共働きや子育て世帯にも負担にならない運用（総会はオンライン参加できる）だと助かる。
- ・ 昔からのやり方やしきたりが多く、若い人が参加しにくい。誰もが理解、把握できるものになれば若い人にも引き継がれて行くと思う。

(3) 加入及び費用負担の公平性と透明化

- ・ 自治会への加入を強制せず、加入するかどうかを各自が選べるようにしてほしい。
- ・ 子育て世帯にとって自治会費の負担は大きい。行政から地域間格差の是正のためのガイドラインを示して欲しい。
- ・ 自治会に入らないと、不利益を被ることはやめてほしい。また、入れば役員を努める可能性や会費もかかるが、メリットが分からない

(4-A) (3)で「加入している」を選んだ場合：
自治会がもっとこうなれば良いということはありませんか。【その他、自由記述】

40代の意見

(1)活動内容・参加負担の見直し

- 自治会は地域に必要なだが、その運営に自分が関われるかと言うと、共働き家庭としては、1日自分の家庭のことだけで精一杯で難しい。
- 必要最低限の活動、地域の環境維持だけなどでいい。

(2)加入・費用負担の公平性と透明化

- 自治会に加入してないとゴミ捨てなどができない。入っていなくても生活に不自由が生じないようにしてほしい。
- イベントの内容・年間予定・収支の透明化

(3)デジタル化・開かれた運営

- 広報誌や回覧の配付が負担、デジタル広報ひめじやLINEなどを活用してほしい。
- 古い村だと、昔から住んでる人が中心になりがちなので、会員全員が参加しやすい雰囲気が必要。

(4-A) (3)で「加入している」を選んだ場合：
自治会がもっとこうなれば良いということはありませんか。【その他、自由記述】

50代の意見

(1) 活動内容・参加負担の見直し

- ・ 役員さんが高齢で大変そうだが、自身も共働きで仕事也多忙なので、役員などを引き受けるのが難しい。
- ・ できる人(やりたい人) ができる範囲で参加する形式になってほしい。
- ・ 自治会活動を防犯・防災、環境整備など必要なものに絞り、業務を軽減する必要がある。

(2) 自治会の役割・加入・費用負担の明確化

- ・ 自治会活動が、一部の人達だけのブラックボックス的な活動になっていると感じるので、もっと積極的に開示してほしい。
- ・ 自治会費や入会金、祭り費用などの負担が大きいため、加入や参加を実質的に強制しないでほしい。
- ・ 会費の使途や収支を明確にし、祭り・神社関連費用など、自治会活動と直接関係のない支出は分けてほしい。

(3) デジタル化・開かれた持続可能な運営

- ・ 広報や広告の回覧はデジタル化して、負担の少ない運営になってほしい。
- ・ 自治会イベントや企画の開催、特定の人ばかりでなく、初めての人でも参加しやすい雰囲気があったらいい。
- ・ 住民の意見や若い世代の考えを尊重し、活動内容や役員の仕事、意思決定の過程を明らかにして、将来も継続できる体制にしてほしい。

（４－Ａ）（３）で「加入している」を選んだ場合：
自治会がもっとこうなれば良いということはありませんか。【その他、自由記述】

60代、70代以上の意見

（１）活動内容・役員負担の見直し

- ・ 自治会会員の高齢化が進み、役員にならざるを得ない場合があるが、体力面からしても不安。
- ・ 自治会は、ごみ収集の立会いなどに専念すべきで、市からの回覧配布等の行政的事務依頼など不要。
- ・ 自治会役員のなり手が圧倒的に少なく、今の役員の負担が増え疲弊している。回覧等を減らすべき。

（２）自治会の役割・加入・費用負担の明確化

- ・ 自治会費が高額で負担感がある
- ・ 自治会費の会計について明確にしてほしい、また、祭りや神社に関する費用は自治会費と分けてほしい。

（３）開かれた持続可能な運営への転換

- ・ 自治会に加入しているが、活動の内容がわからない。
- ・ 色々な企画をされているけれど、転居して間がなく参加しづらい雰囲気がある。
- ・ 今までの行事を引き継ぐことが前提で全てが行われるように思う。予算の使い方など、見直すことも含めて議論ができればいい。

(4-A) (3)で「加入している」を選んだ場合：
自治会がもっとこうなれば良いということはありませんか。【その他、自由記述】

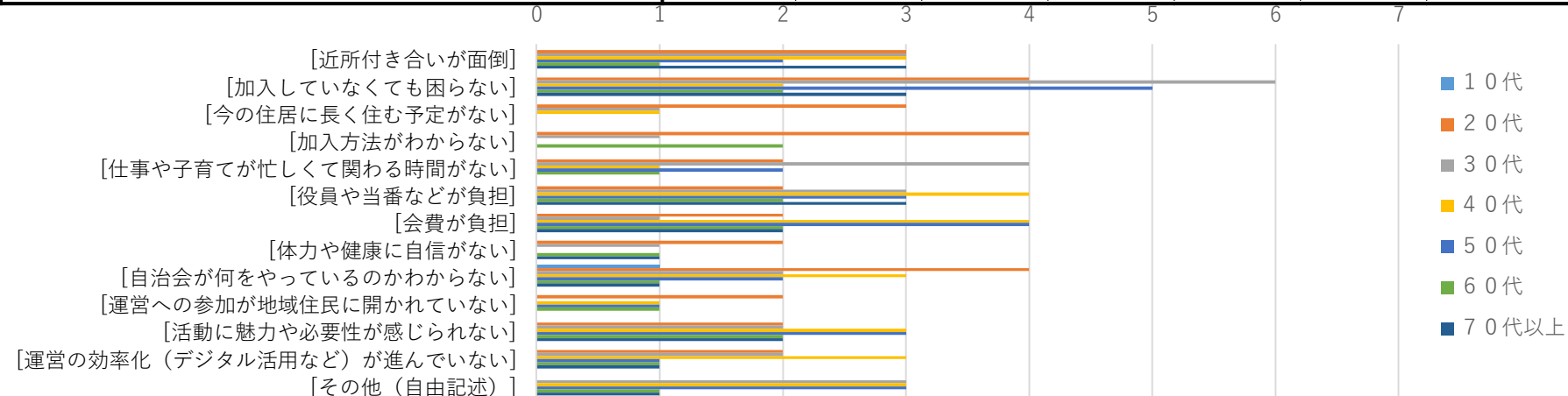
各年代の意見の違いについて

- 各世代に共通して、祭りや清掃、役員・当番の負担軽減、会費の透明化、回覧板等のデジタル化、若い世代や新規住民が参加しやすい運営を求める意見が見られた。
- 30代は加入の自由や行政・外部委託を重視し、自治会への関与を最小限にしたい傾向が強い。40代は仕事や子育てとの両立を踏まえ、集金や広報配布など実務負担の軽減を求めている。50代は自治会の必要性を認めつつ、活動の整理と持続可能性を重視している。60代・70代以上は、防犯・防災や見守りの役割を評価する一方、高齢化や担い手不足への懸念が強い。

(4-B) (3)で「加入していない」を選んだ場合：
自治会に加入していない理由を選んでください。(複数回答可)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
[近所付き合いが面倒]		3	3	3	2	1	3	15
[加入していなくても困らない]		4	6	2	5	2	3	22
[今の住居に長く住む予定がない]		3	1	1				5
[加入方法がわからない]		4	1			2		7
[仕事や子育てが忙しくて関わる時間がない]		2	4	1	2	1		10
[役員や当番などが負担]		2	3	4	3	2	3	17
[会費が負担]		2	1	4	4	2	2	15
[体力や健康に自信がない]		2	1			1	1	5
[自治会が何をやっているのかわからない]	1	4	2	3	2	1	1	14
[運営への参加が地域住民に開かれていない]		2		1	1	1		5
[活動に魅力や必要性が感じられない]		2	2	3	3	2	2	14
[運営の効率化（デジタル活用など）が進んでいない]		2	2	3	1	1	1	10
[その他（自由記述）]			3	3	3	1	1	11

※各年代の上位
3項目の背景色
を黄色にしてい
ます。



- 「加入していなくても困らない」が理由としては最も多い。
- 「役員や当番などが負担」「会費が負担」「近所付き合いが面倒」等の理由も上位を占める。

（４－Ｂ）（３）で「加入していない」を選んだ場合：
自治会に加入していない理由を選んでください。【その他（自由記述）】

（主な回答の要約です）

- 仕事・子育て中でも行事や早朝活動への参加を求められる。回覧板も不要で負担。強制参加で抜けない。
- 共働き・子育てで忙しい状況を60代以上は理解していないのでは。
- 行事で母親の参加を前提としていて、前時代的で驚いた。
- 管理組合が自治会機能を果たしており、二重の費用・活動時間が無駄。
- 任意加入後、未加入者が優遇されるように感じ、加入をやめた。全員加入の仕組みにしてほしい。
- 自治会費や会則などを市内で統一し、公平にしてほしい。
- 災害時には重要なのは分かるが、世代間の感覚差が大きい。若い世代が参加しやすい変革が必要。
- 会費の使い道が不透明。祭りの飲食費、特に酒代が多い。
- マンション全体で自治会に加入していない。
- マンション自体は自治会に加入していないが、個人的には加入したい。

(4-B) (3)で「加入していない」を選んだ場合：
自治会に加入していない理由を選んでください。【その他（自由記述）】

30代の意見

- 若い世代や子育て世帯は共働きで、PTA活動でも負担を感じているが、自治会活動の中心になっている世代との相互理解が難しい。
- 地域の行事では、子供会の母親が飲み物や食べ物を用意するようで、自治会も母親の参加前提としていることに驚いた。子供会が地域の行事に協力することは大切だが、必ずしも母親である必要はない。
- 災害の時に自治会の活動が重要なのは理解できるが、多世代にわたる活動である以上、世代間の感覚の違いを埋めるため、今の自治会も変わらないと、若い世代の加入促進にはならないと思う。

(4-B) (3)で「加入していない」を選んだ場合：
自治会に加入していない理由を選んでください。【その他（自由記述）】

40代の意見

- 自治会に入会する必要性を感じない、面倒に感じている。
- 会費の使い道が不透明で、その他などでひとくくりにされており詳細がわからない。飲食費の支出が多いように見える。
- 住んでいるマンション自体が加入していない。

50代の意見

- 新しく引越してきた人は加入しておらず、加入していない人が優遇されていると感じ加入をやめた。全員が加入するようなシステムにしてほしい。
- 地域行事の参加や、朝早くからの活動、小さい子供がいても仕事をしていても参加しないといけないし、回覧板も回すのが大変。自治会の活動は、今の生活スタイルにはそぐわないし、自治会も毎年していることを当たり前とし、効率化できていない。参加したい人もいれば参加したくない人もいることに配慮してほしい。

（４－Ｂ）（３）で「加入していない」を選んだ場合：
自治会に加入していない理由を選んでください。【その他（自由記述）】

60代の意見

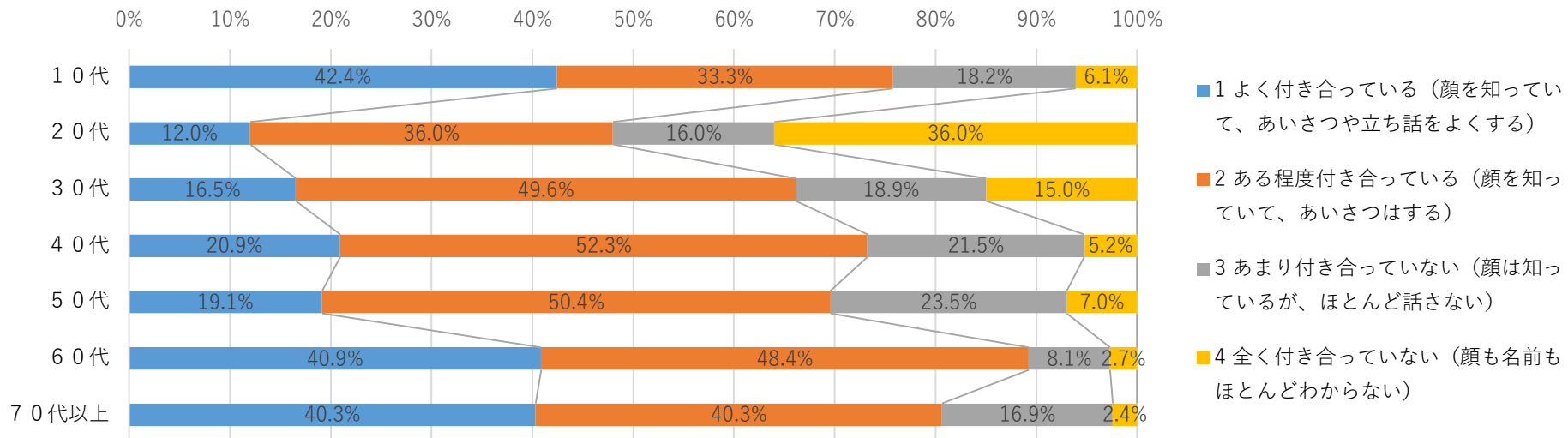
- ・ 入居時に不動産業者から要加入とは聞いておらず、加入しても良いと思うが、どうしたら良いかわからない。
- ・ 賃貸住宅に住んでいるため、よくわからない。

各年代の意見の相違について

- ・ 自治会に加入していない理由として、必要性やメリットを感じにくいこと、行事・役員・回覧板などの負担、会費の使途や運営への不透明感が挙げられた。特に30～50代では、仕事や子育てとの両立が難しく、従来の活動や参加を前提とした運営が生活スタイルに合わないとの意見が見られた。また、若い世代と自治会活動を担う高齢世代との間の、活動への意識の違いも指摘された。また集合住宅における、管理組合との役割の重複やマンション自体が自治会に未加入も理由となっている。

(5) あなたは近隣の方とどの程度付き合いがありますか。(年代別集計)

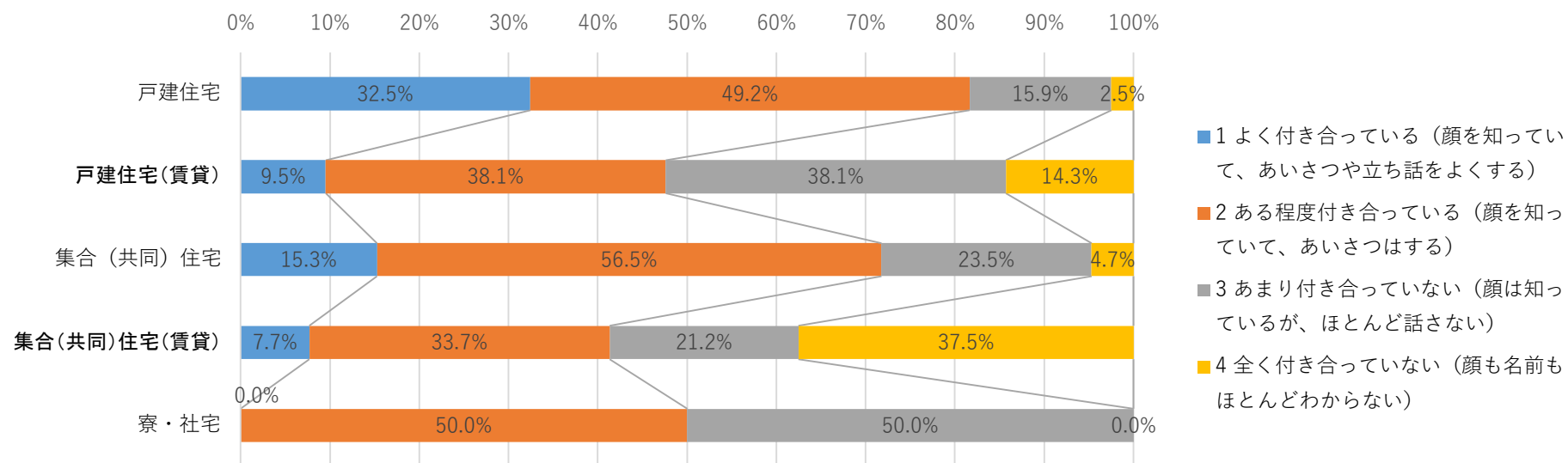
	1 よく付き合っている（顔を 知っていて、あいさつや 立ち話をよくする）		2 ある程度付き合っている（顔を 知っていて、あいさ つはする）		3 あまり付き合っていない（顔は知 っているが、ほと んど話さない）		4 全く付き合っていない（顔も名前もほと んどわからない）		全体の 回答数	全体の 割合
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合		
10代	14	42.4%	11	33.3%	6	18.2%	2	6.1%	33	100.0%
20代	3	12.0%	9	36.0%	4	16.0%	9	36.0%	25	100.0%
30代	21	16.5%	63	49.6%	24	18.9%	19	15.0%	127	100.0%
40代	36	20.9%	90	52.3%	37	21.5%	9	5.2%	172	100.0%
50代	44	19.1%	116	50.4%	54	23.5%	16	7.0%	230	100.0%
60代	76	40.9%	90	48.4%	15	8.1%	5	2.7%	186	100.0%
70代以上	50	40.3%	50	40.3%	21	16.9%	3	2.4%	124	100.0%
総計	244	27.2%	429	47.8%	161	17.9%	63	7.0%	897	100.0%



- 60代以上に比べて、50代以下の現役世代は近所付き合いが少ない傾向にある。
- 特に、20代は「よく付き合っている」「ある程度付き合っている」を足しても半数を下回っている。

(5) あなたは近隣の方とどの程度付き合いがありますか。(居住形態別集計)

	1 よく付き合っている（顔を 知っていて、あいさつや 立ち話をよくする）		2 ある程度付き合っている （顔を知っていて、あいさ つはする）		3 あまり付き合っていない （顔は知っているが、ほと んど話さない）		4 全く付き合っていない （顔も名前もほとんどわか らない）		全体の 回答数	全体の 割合
	回答数	（割合）	回答数	（割合）	回答数	（割合）	回答数	（割合）		
戸建住宅	221	32.5%	335	49.2%	108	15.9%	17	2.5%	681	100.0%
戸建住宅（賃貸）	2	9.5%	8	38.1%	8	38.1%	3	14.3%	21	100.0%
集合（共同）住宅	13	15.3%	48	56.5%	20	23.5%	4	4.7%	85	100.0%
集合（共同）住宅（賃貸）	8	7.7%	35	33.7%	22	21.2%	39	37.5%	104	100.0%
寮・社宅		0.0%	3	50.0%	3	50.0%		0.0%	6	100.0%
総計	244	27.2%	429	47.8%	161	17.9%	63	7.0%	897	100.0%



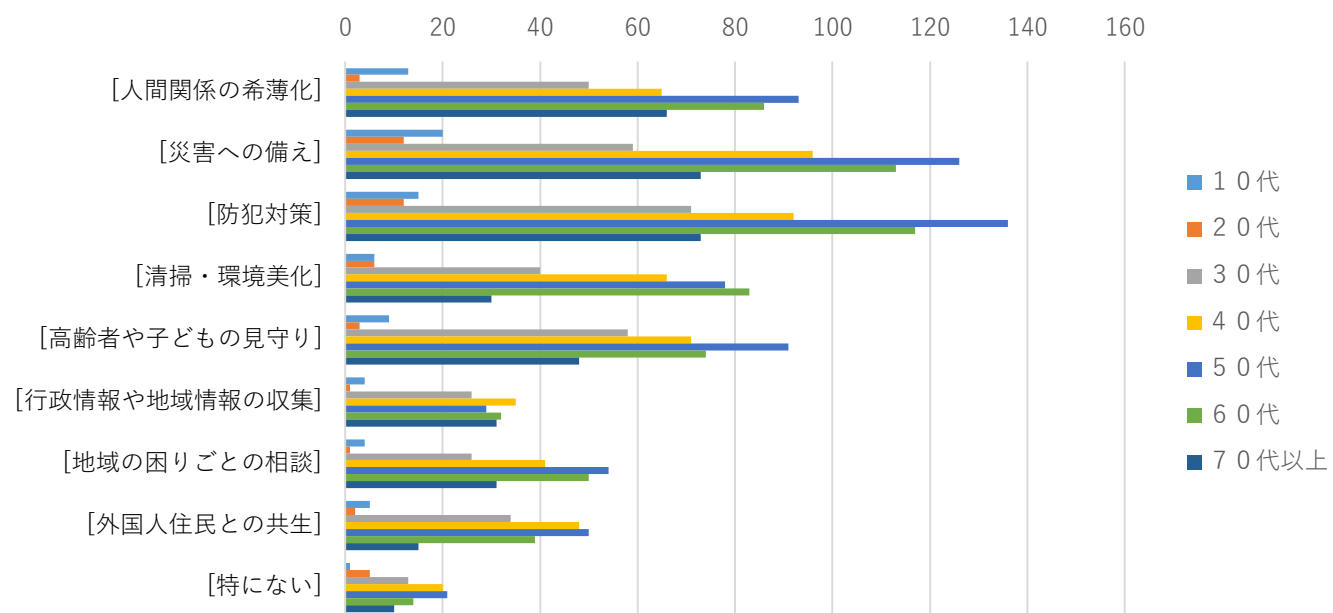
- 持ち家（戸建住宅・集合（共同）住宅）に比べて、賃貸の近所付き合いが少ない傾向がある。
- 賃貸は戸建・集合住宅ともに、「よく付き合っている」「ある程度付き合っている」を合わせても半数を下回っている。

(6) 地域社会で暮らすにあたって不安に思っていることはありますか。 (複数選択可)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
[人間関係の希薄化]	13	3	50	65	93	86	66	376
[災害への備え]	20	12	59	96	126	113	73	499
[防犯対策]	15	12	71	92	136	117	73	516
[清掃・環境美化]	6	6	40	66	78	83	30	309
[高齢者や子どもの見守り]	9	3	58	71	91	74	48	354
[行政情報や地域情報の収集]	4	1	26	35	29	32	31	158
[地域の困りごとの相談]	4	1	26	41	54	50	31	207
[外国人住民との共生]	5	2	34	48	50	39	15	193
[特になし]	1	5	13	20	21	14	10	84

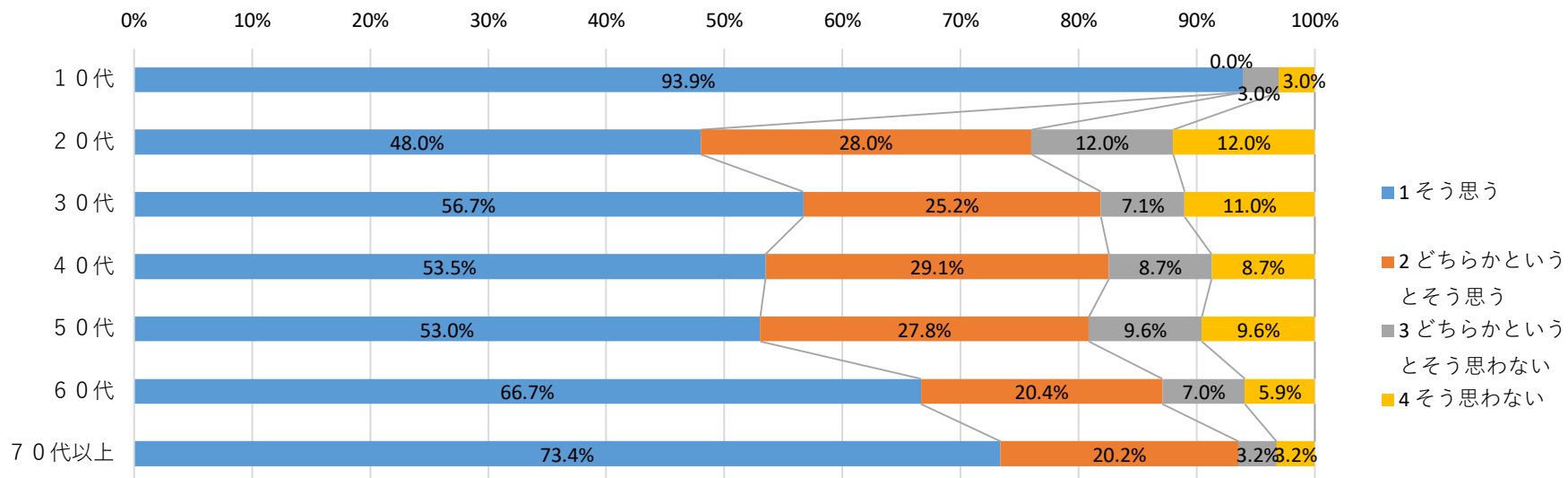
※各年代の上位3項目の背景色を黄色にしています。

- どの年代でも、「災害への備え」「防犯対策」を不安に思っている人が多い。
- 10代及び50代以上では「人間関係の希薄化」も不安に思われている。
- 30代～40代の子育て世代では、「高齢者や子どもの見守り」を不安に思っている人も多い。



(7) (6) の設問項目に記載したような不安を減らす取り組みを行っている自治会は今後も必要だと思いますか。

	1 そう思う		2 どちらかというと思う		3 どちらかというと思わない		4 そう思わない		全体の回答数	全体の割合
	回答数	(割合)	回答数	(割合)	回答数	(割合)	回答数	(割合)		
10代	31	93.9%		0.0%	1	3.0%	1	3.0%	33	100.0%
20代	12	48.0%	7	28.0%	3	12.0%	3	12.0%	25	100.0%
30代	72	56.7%	32	25.2%	9	7.1%	14	11.0%	127	100.0%
40代	92	53.5%	50	29.1%	15	8.7%	15	8.7%	172	100.0%
50代	122	53.0%	64	27.8%	22	9.6%	22	9.6%	230	100.0%
60代	124	66.7%	38	20.4%	13	7.0%	11	5.9%	186	100.0%
70代以上	91	73.4%	25	20.2%	4	3.2%	4	3.2%	124	100.0%
総計	544	60.6%	216	24.1%	67	7.5%	70	7.8%	897	100.0%



- 高い年代になるほど、不安を減らす取り組みを行っている自治会は今後も必要だと思う人は多くなる傾向がある。
- 20代は「そう思う」「どちらかというと思う」の割合が比較的低いが、それでも7割以上の方が自治会の必要性を感じており、30代～50代との差は少ない。

市民アンケート結果のまとめ

- 自治体の加入率は、年代別では20代がほかの年代に比べて極端に低い（68.0％）。居住世帯別では集合住宅居住者の加入率が低く、特に集合住宅（賃貸）の加入率は76.9％となっている。
- 自治会に希望することとしては、役員や当番、会費の負担が少なくなることや、負担にならない範囲で活動に参加できる仕組みを挙げる声が多い。
- 自治会に加入しない理由は、加入しても困らないことが最も多く、役員や当番、会費の負担を挙げる声も多い。
- 60代以上に比べて、50代以下の現役世代は近所付き合いが少ない傾向にある。また、戸建て・集合住宅ともに、賃貸居住者は持ち家居住者よりも近所付き合いが少ない。
- 地域社会での不安については、人間の希薄化や災害への備え、防犯対策を挙げる声が多い。
- 20代は自治会への加入率は極端に低い一方で、自治会の必要性を感じている人は30代～50代と比べて極端に低いわけではない。